

# DAWN 通信



2018.12

## 働くお母さんに優しい社会をめざして

大学を卒業後、メーカーに入社し、エンジニアとして働き始めた。男女雇用機会均等法施行後に女性総合職第1号となった。不妊治療を経て30歳で第1子を出産。当時から、保育所の待機児童が問題になっていた。

第1子は11月生まれだが、当時はその年の4月生まれの子どもから先に入所が決まっていた。市役所には「保育所に入れたいなら子どもは7月までに産むのが常識」と言われ、びっくりした。その通りに2人目は7月に出産。すると今度は「育児休業に入ると3歳未満の第1子は退所しなければならず、第2子を産むまで3年あけるのが常識」と言われた。その時、私の心の中でプツンと切れる音が聞こえた。

これから出産する働く女性たちに同じようなつらい思いをしてほしくない。04年、2人目の出産3日前、『キャリアと家庭』両立をめざす会」を1人で立ち上げた。

新聞に取り上げてもらうと、その日のうちに70人、会員になりたいという連絡があった。働きながら自宅の電話で平日の夜や休日に相談を受けつけ、届いた便りに返事を書くという活動を続け、会員が全国に広がった。会を設立して7年間に、2万件以上の相談が寄せられた。

「子どもが病気の時に預かってもらえるところがない」という相談が一番多かった。「上田さんが会社を休んで、私の子どもを預かってほしい」という要望が、日に20件も寄せられるようになった。

働くお母さんを応援しているのに、一番困っているときに助けてあげられないことに葛藤。そこで17年間勤務した会社を辞めて創業、派遣型の病児保育サービスを2001年に開始した。

あれから17年。待機児童の解消など、子育て環境の整備は急務だ。だが、行政や民間が取り組まないサービスはまだあり、そのすき間で困っているお母さんがいる。一人で出来ることはほんの少しだが、誰かが一歩を踏み出さないと、何も変わらない。働くお母さんに本当の意味で優しい社会になるまで、これからも挑戦を続けていきたいと思う。

株式会社マザーネット代表取締役

上田 理恵子

### ★シングルマザー応援フェスタ2018 実施報告

- 財団トピックス
- イコラム情報
- 平成30年度事業受託・講師派遣等実績一覧



ドーン財団とは、ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26（2014）年度に決めました。ドーンセンターは、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

ただいま、情報発信中！

財団ホームページ

<http://www.dawn-ogef.jp/>



Twitter

[https://twitter.com/O\\_G\\_E\\_F](https://twitter.com/O_G_E_F)

# シングルマザーの 応援フェスタ 2018

## 実施報告

### 🏠 当日のレポート

9月8日(土)に「シングルマザーの応援フェスタ 2018」を開催しました。当日は、雨にもかかわらずお越しいただきました参加者の皆様、関係者の皆様ありがとうございました。いつもひとりで頑張っているシングルマザーに日頃の疲れを癒して、楽しんで、リラックスできる時間をプレゼントする催しです。

大阪府内はもとより兵庫、奈良、京都など他府県も含み63名の方がご参加くださいました。カードを使ったワークショップで緊張もほぐれ、参加者の皆さんのコミュニケーションも盛んになり、アロマ・ハンドマッサージですっかりリラックス。仕事や家事、子育てなどに追われる日々から少し解放され表情も緩やかになった様子でした。普段は忙しくて自分のための時間もゆっくりショッピングをする時間もなかなか持てない方は、時間の許す限りスーツのフィッティングをしたり、靴やバッグ、アクセサリーなどを手に取ったりし自分に似合うものを選びました。

ハーブティを楽しみながら話が弾んだ方々は、子育てや仕事の悩み、家族の悩みなど、同じ立場だから理解でき、励ましあい、様々なことを共有する中で、安心感とエネルギーを持ち帰っていらっしゃいました。

終了後は、一時保育へお迎えに。笑顔いっぱいのお母さんと2時間半ぶりに対面したお子さんも笑顔いっぱい。親子それぞれが充実した時間を過ごして、とても満足そうでした。一時保育室を出た後も名残惜しそうに遊んでいるお子さんたちの姿が印象的でした。

この事業では、ひとりでがんばるシングルマザーがリラックスでき、友達をつくり、普段しづらい情報共有をすることで、明日からの励みを見つけて帰っていただくものです。お母さんが笑顔でいられればお子さんも笑顔でいられる。そのために今後もこの事業に取り組んでいきたいと思えます。

当日は、社会貢献活動にも積極的な全日空キャビンアテンダントのOG会である「全日空白鷺会大阪有志」の方がサポートしてくださいました。シングルマザー経験者もおられ困難な状況にある女性の支援にも協力している白鷺会の方は、とても心強く安心感のある存在です。ご協力をいただきました企業・団体の皆様に心から感謝申し上げます。

### ◆ 協力 ◆

明石市役所女性職員有志  
尼崎市役所職員有志  
大阪樟蔭女子大学(化粧ファッション学科)  
社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会  
大阪ロータリークラブ社会奉仕委員会  
株式会社クラブコスメチックス  
グンゼ株式会社女性社員有志  
株式会社サンケイリビング新聞社  
NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西  
全日空白鷺会大阪有志  
住友精密工業株式会社女性社員有志  
(五十音順)

### 🏠 応援フェスタを終えて

平成29年度全国ひとり親世帯等調査(厚生労働省)では、母子世帯の母の就労収入は平均200万円であり、父子世帯の398万円の半分程度となっているのが現実です。

一方、人口動態統計の年間推計による離婚率(人口1000人あたりの離婚件数)は、2002年の2.3%を上限に徐々に低下し2017年は1.7%ですが、大阪府は依然高く2.08%となっています。ドーン財団では、今まで職業訓練(大阪府)やシングルマザーをエンパワメントする目的で「はなみずきセミナー」を実施してきました。

その中で同じ立場の女性同士が安心して集える場づくり、シングルマザーが自己尊重感を上げる、リラックスして過ごせる、役立つ情報を得ることの重要性を再確認しました。そこで2015年11月に「シングルマザーの応援フェスタ 2015」をみずほ社会貢献ファンドの後援を得て実施しましたが、今回は、活動を理解する協力者として新たな組織、団体、大学、企業等に加わってもらうこと、内容を充実させることも目的としました。

今後とも、シングルマザーの状況を理解し支援できる社会を目指して、取り組みを進めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

白井 文(当財団 業務執行理事)



化粧品やステキな小物も!



たくさんのスーツやブラウス♪



靴・かばんがいっぱい!



## 大阪サクヤヒメ賞 表彰式

大阪商工会議所主催「第3回大阪サクヤヒメ表彰」にて、当財団 理事兼本部長の仁科あゆ美が、栄えある「大阪サクヤヒメ賞」を受賞しました。

この表彰は、企業活動や文化活動で活躍する女性リーダーを表彰するもので、大阪商工会議所 佐藤茂雄前会頭の顕彰事業として平成 28 年度に創設されました。政府が推進する目標「2020年に指導的地位に占める女性の割合を30%にする（通称：202030）」の実現に一助する事業です。「大阪サクヤヒメ大賞」1名、「大阪サクヤヒメ賞」8名、「活躍賞」25名の女性を受賞し、平成30年12月6日（木曜日）にリーガロイヤルホテル(大阪)にて表彰式が行われました。選考は、業績および①人材育成・ワークライフバランス、②社会貢献・都市魅力向上のどちらかの活動項目に基づき審査され、サクヤヒメ賞の表彰者にはガラス製の美しい表彰盾と、18kホワイトゴールドとダイヤをあしらったピンブローチが贈呈されました。

表彰にあたり、「大阪府立女性総合センター（現 大阪府立男女共同参画・青少年センター / ドーンセンター）開館から20年以上にわたり、男女が協働できる環境づくりに尽力してきた。年間9,000件にのぼる相談から女性活躍を阻む壁を認識。国内外、産学官民と連携し、支援や人材教育、仕組みづくりに取り組む。国の事業も担うなど、広い見識に裏打ちされた力強い活動は女性活躍のモデルとして大いに評価される。」とのコメントをいただきました。



## イコーラム情報

ドーン財団は平成23（2011）年度から東大阪市より事業を受託し、東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営を担っています。



## 市民協働事業「企画委員」企画 ～もしかして、うちの子発達障害？～

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは「もしかして、うちの子発達障害？～みんな違って、みんないい～」を開催しました。講師は、東大阪市内で活動する、発達障害や学習困難のある子どもたちとその親の会代表。知的障害もある自閉症の息子の子育て経験から会を立ち上げた講師の話は、とても参考になったようです。

今回の企画は、発達障害をテーマにした講座を企画する委員を募集した市民協働事業の一つ。企画した企画委員にとっても、「これまで周囲や自分自身が感じてきたモヤモヤを企画につなげることができた」「企画委員3人の共通の思いがあったので順調に企画を進められた」と、充実した様子でした。

指定管理2期で実施してきた市民協働事業も4年目を迎え、徐々に定着してきました。今回の「企画委員」企画は、発達障害に関心のある3人が企画委員として、担当職員と会議を重ね企画したものです。市民目線がより反映される市民協働事業。企画そのものを募集する「企画」とともに、市民とのよりよい関係構築のため、今後も進めていきます。



【受託事業】

■大阪府（府民文化部）大阪府男女共同参画推進のための相談事業等業務（～31年度）／働く女性・働きたい女性のための『お悩み』相談会』の女性相談／大阪府における男女共同参画施策に関わる市町村職員のための研修企画・運営業務  
■大阪府（健康医療部）不妊専門相談センター事業 ■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業（～30年度）  
■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／若年層を対象とした女性に対する暴力予防啓発のための研修事業／性犯罪被害者等支援体制整備促進事業  
■京都府舞鶴市／女性電話相談員養成講座 ■石川県／DV相談員等育成研修 ■三重県伊賀市／男女共同参画事業 ■大阪女学院大学・短期大学／人権教育講座／キャンパスハラスメント学習会  
■近畿大学総合社会学部／キャリアサポートセミナー ■大阪樟蔭女子大学／学芸学部の学び

【講師派遣等】

国際ソロプチミスト／三重県伊賀市／岸和田市／四條畷市事業所人権連絡会／守口市門真市消防組合／貝塚市教育委員会／東大阪市教育委員会／公立大学法人大阪府立大学／近畿大学／龍谷大学／大阪府立枚方高等学校／大阪府立とりかい高等支援学校／大阪成蹊女子高等学校／関西大学北陽中学校／岸和田市立春木中学校／岸和田市立北中学校／岸和田市立葛城中学校／岸和田市立桜台中学校／岸和田市立産業高校定時制／交野市立第二中学校 等

【委員応募等】

有園博子基金企画委員／（公財）大阪府市町村振興協会・おおさか市町村職員研修研究センター運営審議会委員／門真市男女共同参画審議会委員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員／「ひとり親家族を生活主体とする支援のあり方に関する日韓共同研究」研究協力者 等

ドーン財団の「はなみずき女性センター」は、暴力被害等によって困難な状況にある女性をサポートし、社会復帰を応援します。



すべての女性が自分の人生を主体的に選択し、自立できることを応援します。「はなみずき女性支援センター」へのご協力・ご支援をお願いします。  
はなみずき女性支援センター長 白井 文

2008年8月、「すべての女性が、自分の人生を主体的に選択し、納得の人生を実現できる社会をつくるための志(支)援金としてご活用いただきたい」との趣旨で府内在住の女性から当財団に贈与された寄附金を基に設置しました。現在では、当趣旨に賛同いただいた企業の皆さまからのご寄附もいただいています。

【ご寄附の振込先】

大阪商工信用金庫 本店営業部  
普通 0327905  
はなみずき女性支援センター  
センター長 白井文(しらいあや)

財団理念

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団(愛称:ドーン財団)は「男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持つ力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

財団ロゴマーク

平成28(2016)年4月に作成したロゴマークは、男女共同参画社会の実現のために、しなやかでシャープに、そして包括的に下支えすることで寄与していきたいという思いを込めました。女性に対するあらゆる暴力の根絶を願って、国際的にも使用されているパープルリボンの色を使用しています。

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

<http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html>

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。

[ドーン財団]で検索。

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索



ドーン財団

編集・発行 ドーン財団(一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団)  
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15  
大手前センタービル12F  
TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624  
<http://www.dawn-ogef.jp>

発行日:平成30(2018)年12月31日